



次の【お話し】を読んでみましょう。【お話し】の後に、【問題】があります。

【お話し】

四月に小学三年生になるたくみくんのお父さんは、みたらし団子やようかんといった和菓子を作る職人さんです。ずっと和菓子店で働いていたお父さんには、いつか自分の和菓子店を持つという夢がありました。その和菓子店が、まもなくオープンします。店の名前は、「まごころ」に決まりました。お客さんのために、いっしょうけんめいおいしい和菓子を作るといって、「まごころ」を、いつまでも大事にしていきたいということから、そのように決めました。

今、お父さんは、店の出入り口にかけておくのれんに書く「まごころ」という文字を、どのように表すのか、たくみくんといっしょに考えています。二人がいろいろと考えた結果、次のA、Bという二つの表しかたのどちらかがよいのではないかと、ということになりました。

たくみくんのお父さんとたくみくんは、AとBのどちらにもよいところがあまりそうに思え、なやんでいます。

【問題】

あなただったら、AとBの表しかたのどちらにしますか。「A」あるいは「B」を選んで、それにした理由を書きましょう。もしかしたら、A、Bとはちがう表しかたを思いついた人がいるかもしれません。その人は、「どちらでもない」を選び、自分の思いついた表しかたを言葉で説明しましょう。

書きたくなくなるテスト、**ありがとう**。

日能研のテスト、3年生国語の問題です。

「フタシはA。日本のお菓子とか、昔からあるお菓子っぽいよ。」

「ホクはB。まごころのイメージのもの、やさしいカンジがするから。」

「じぶらでもないな。」

文字を和菓子のカタチにしたら、お客さんに喜ばれる……

実際にあった子ども達の答え。どれも「理ある」と思いませんか？

「答えはどっちなのっ？」とはなく、

「自分で決めた答えや考えを、わかりやすく伝えて。」

「キミの考えるプロセス」そのものがおもしろい。評価したい！

「これだけ知っているか、覚えているか」をはかるだけのテスト、点数中心の評価で、「キミのいいところ」ほとんどわからない。

それで「キミ」の何がわかるのっ。

マークシートでははかれない。

「書く」だから伝わってくる「キミ自身」。

そのため新しい評価(日能研ルーブリック)。

子ども達が、自分の考えや想いを「書きたくなくなる」テスト問題、

今年もご用意しました。

〈日能研全国テスト〉で、ぜひご賞味ください。

※2014年3月実施テストより



昨年の問題がみられます! (抜粋) 「子どもたちの記述例」も! テストの特設サイトへ!

日能研全国テスト過去問 検索 <http://www.nichinoken.co.jp/event/free/pasttest.html>

明日からの学び、このテストから——6月、始める、日能研。

日能研 全国テスト

